

スペイン語会話Ⅷ

科目ナンバリング SPA-308

必修 1単位

プラスナボイネ

1. 授業の概要(ねらい)

この授業の目的は、できるだけ流暢なスペイン語会話能力を身につけることにある。授業の方法としては、日常的によく使われる会話表現の練習と、テーマを決めて、そのテーマについての口頭表現の練習、およびその基本となる作文の練習で進行する。

2. 授業の到達目標

日常的な会話能力の習得にとどまらず、様々な分野のニュースや社会における出来事について正確に聞き取り、またそれを正しいスペイン語で書く能力をも身につける。さらにはそれらのテーマについてスペイン語で討論することのできるレベルを目指す。セルバンテス文化センター検定試験の「B1」レベル合格を目標とする。

3. 成績評価の方法および基準

平常点評価	30%
オラル試験	30%
ペーパー試験	40%

4. 教科書・参考文献

参考文献

Sandra Garcia

Ana Maria de Vargas PRISMA Edinumen

5. 準備学修の内容

事前学習として単語の下調べと作文課題の予習、事後学習として学習表現の復習と練習問題を、各1時間ずつ行うこと

6. その他履修上の注意事項

授業への積極的参加が何より要求されます。質問などがあれば遠慮せず積極的に発言してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 前期の復習、休暇中の出来事や経験について話す
- 【第2回】 ある行動の動機と結果について表現する、ある出来事を否定し、事実を述べる
- 【第3回】 言語習得の問題点について、プレゼンテーションや講演の方法について
- 【第4回】 仮説と可能性について表現する、ある事柄についての事実関係を表現する
- 【第5回】 現在と関係のある過去の出来事と現実との因果関係を表現する、過去・現在・未来の因果関係について表現する
- 【第6回】 未来に起こるであろう出来事とその結果を予想する
- 【第7回】 ある行動の原因と目的を表現する
- 【第8回】 ある講演の要点をメモし、その内容を整理・理解して、それを表現する方法を学ぶ
- 【第9回】 オラル試験
- 【第10回】 今後すぐに起こるであろう事柄について表現する
- 【第11回】 スペインとラテンアメリカの映画作品と映画事情について話す
- 【第12回】 各国の伝統について表現する
- 【第13回】 スペインとラテンアメリカへの架空旅行案内をする
- 【第14回】 復習
- 【第15回】 理解度の確認